

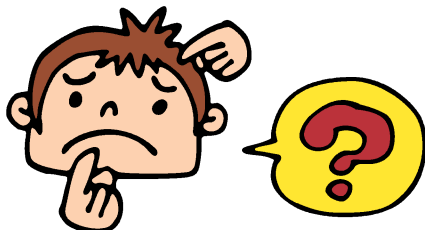
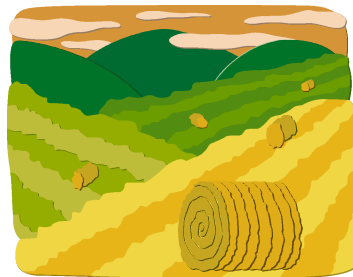
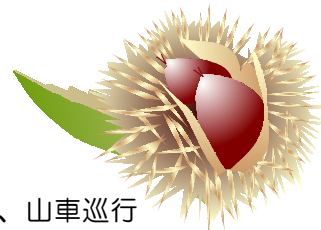
秋を少し感じるのは9月という文字を見たからでしょうか。  
こう書いてから早2週間が経とうとしています。まだ半袖に違和感はありませんが、朝夕はすっかり涼しくなりました。

収穫の時季。そして各地域のお祭りに続き、この町に4年ぶりの神輿、山車巡行のある今金八幡宮例大祭がやってきます。出店もあります。子どもたちの笑顔が見られるといいなあ。もちろん大人たちの笑顔も。

心地よい風の季節とともに、今金エッセイコンテスト、町総合文化祭など、芸術のイベントも続いていきます。イベントではこれまで控えていた飲食のブースも再開されます。

お祭り、そして文化的イベント。文字通り、いい一日になるよう、私たち教育委員会も取り組んでいきます。

その後は凜とした空気と共に次の季節の事業が。  
楽しみながら一生懸命取り組んでまいりますのでどうぞ  
よろしくお願いいたします。



江差の方から電話をいただきました。お相手からは「申し訳ありませんでした。担当者がすすべで…」と。会話の流れで、不都合のお詫びであることは理解しましたので、いえいえとやりとりを終えましたが、「すすべ」の意味が分からなくて…。

事務所に行って「ねえねえ、すすべってどういう意味？」と聞いたのですが誰も分かりません。唯一、転勤で檜山南部にいたことがある職員が、なんとなくこんな意味だと教えてくれました。彼女は十勝出身ですが…。

檜山でも南部と北部では言葉が少し違うとは思っていましたが、通じない言葉があるんだなあと再認識しました。よかった、自分だけ知らないんじゃないかと。

実は苦い経験があります。教員になってからも、「塩梅」という漢字が読めなかったのです。私の父は関西人でした。ちょっとのんびりした京都弁。母は函館生まれ。その母がややなまり気味に（本人はそういう自覚はない）よく、「あんばいがわるい」と使っていたのです。時には「あんべえ」と。だから、てっきり方言だと思って、私は大人になってもあんばいという表現を使わないようにしてきました。漢字なんてないと思ってきました。方言だもの、と。

勉強不足なのでしょうが、学生時代もあんばいという言葉に接することはなかったと思います。ゆえに「塩梅」をしおうめってなんだ？と思いながら、酒席の司会をしていて、届いたコメントを読んでしまったのです。しおうめ…。馬鹿にされちゃいました、たぶん。恥ずかしかった。

すすべ。調べてみました。まあ、あんまり良い意味じゃない気がします。使うことはないなあ。塩梅は使うことあるかも知れないけれど。……以上、個人の感想でした。

